



# とらいあんぐる



2022 年 11 月・12 月

一音会ミュージックスクール発行

## 「ピアノの効能」

よくきかれる質問に、こういう素朴な質問があります。

「ピアノを習うことのメリットって何ですか？」

実は、ドキッとします。

ピアノって、やはり「役に立たない」というイメージがあるのだなあと、痛感させられるからです。

メリットがありそうに見えたら、こんな質問は出ません。ピアノは、いかにもメリットがなさそうに見えるのでしよう。

いや、その気持ち、よくわかります。

そもそもクラシック音楽自体、浮世離れしていますし、日々の生活とも、ほぼ関係なさそうです。

音楽は、生活の糧にもなりそうにありません。

メリットとかデメリットといった考え方と相性が悪いことは、疑いようのないことです。

質問は、むしろ当然です。

今回は、この問いをテーマにしてみたいと思います。

テーマは、「ピアノが弾けて、何の得があるのか？」です。

この質問をひんばんにいただくという事実から、もう1つ、読み取れることがあると思っています。

子どもも、子どもを取り巻くおとなも、みんな忙しい、ということです。

だから、メリットのないことに時間を使いたくないし、実際、使えないのでしよう。

限られた時間の中で、できるだけ子どもの人生に役立つことをさせたい。

それは、当然の思いです。おけいごとにかけてられるお月謝だって、かぎりがあります。

時間もお金も無限にあるのだったら、全部、やれば良いのです。でも時間だってお金だって有限です。

だから常に考えるのです。常に迷うのです。

英会話とピアノだったら、どっち？

バレエとピアノだったら、どっち？

スイミングとピアノだったら、どっち？

塾とピアノだったら、どっち？



ピアノをやることのメリットをきかれて、こんなふうに答えることがあります。

「ピアノは人生を豊かにします」

はい、出ました。

きれいごとです。

質問した方の顔にも落胆がうかびます。そんなきれいごとをききたいのではないといたげです。

でも、ピアノが人生を豊かにすると私が思っていることは本当です。

ピアノを通じて、幸せな気持ち、高揚する気持ちを、数えきれないほど味わってきました。

音楽によって紡がれた記憶は、永遠です。年月が経とうとも、音楽とともにあざやかによみがえります。

このあたりのことは、2022年4月号、「運命の曲」にも書きましたので、今回は省略します。

今回は、下世話に徹すると決めたのです。

それに、人生を豊かにするのは、ピアノだけというわけではありません。

すぐれた映画を観ることも、スポーツに取り組むことも、人と交流することも・・・人生を豊かにする活動は、たくさんあるのです。

ピアノだけが特別なんて思うのは、思い上がりです。

でも、おそらくピアノによってしか得られないこともあると、私は確信しています。



また昔話につきあってください。

幼い頃、私はものすごく不器用でした。

指をバラバラに動かすことができない、しかもそれぞれの指が思ったように動かない、いらだってばかりいました。

ピアノの練習中、1回の練習につき、2～3回、かんしゃくをおこしていました。泣きながら楽譜を破き、あとからもっと激しく泣きながら、セロテープで楽譜をはりあわせました。

ピアノをやめなかったのは、ピアノの魅力にみせられたから、なんていうことではまったくありません。ただの意地です。

ピアノに向かって、かんしゃくばかりおこしていますから、ピアノの持つ優美さなんて、子どもの頃は感じたことがありませんでした。

そんな状況ですので、ピアノが好きではないのですが、負けず嫌いゆえ、やめられなくなっています。

でも、正直なところ、嫌いにもなりきれない理由がありました。

それは、ピアノを弾ける人が、この難しいことを、さも簡単なことのようにやっつけているからです。

なんてすごいんだろう！

天才なのか！

魔法使いなのか！

私がピアノをあきらめなかったのは、ピアノを弾ける人に対する、あこがれと尊敬です。

左右の手で違う動きをするだけでなく、5本の指がバラバラの動きをします。



その瞬間、瞬間、鍵盤位置だけでなく音の長さや指使いまで読み取りながら、正しく指を動かします。それもよどみなく連続的に起こします。

もはや魔法です。

ピアノを弾ける人を心から尊敬しました。

「すごいなあ。いいなあ」

私の身近でピアノが弾ける人は、私の母でした。

私の楽譜なんて、1ページに、2段くらいしかなくて、音符の玉がアーモンドチョコぐらいの大きさでした。

そんな簡単な曲だったにもかかわらず、弾けなくて、怒ったり泣いたり、大騒ぎしていました。

母の楽譜は、アサガオの種より音符が小さく、音符だらけでページ全体が真っ黒でした。串にさしたおだんごのような和音がずっとならんでいて、どうやって弾くのか意味の分からない記号がたくさんありました。

同じ人間で、こんなのが弾ける人が

いることに、ものすごく驚きました。

つくづく、すごいなあと思ったものです。

祖母にいったことがあります。祖母はピアノを弾いたことがない人でした。

「おばあちゃん、ピアノって、すごいんだよ。難しいことを、いっぱいいっぱい、いっぺんにやらなくちゃいけないんだよ。それもね、びゅーって、すごいはやさで、やるんだよ。あんな曲が弾けるママはすごいよ。ママは天才かもしれない」

祖母はいいました。

「あっちゃん、よく気がついたわね。おばあちゃんはピアノを弾いたことがないからこそ、ピアノのすごさが分かる。おばあちゃんも、できればピアノを弾ける人になってみたかった。ピアノを弾くのは、とんでもない技術だと思うわ」

ピアノの難しさは、他のことにたとえられません。他の楽器とは、明らかに違います。

1つ、はっきりいえるのは「並列処理」である、ということです。

「並列処理」とは、複数の情報処理を同時におこなうことです。

ピアノでいえば、こうです。

音の高さを読む。

音の長さを読む。

指使いを読む。

正しい鍵盤を打鍵する。

正しい長さで打鍵する。

正しい指を動かす。

上記のいくつもの作業を複数の音について同時におこないます。

これにアーティキュレーションや強弱やテンポといった情報の処理も当然加わります。

それから、正しい音が出せているか確認すること、というのもあるのですが、その瞬間には次の部分の楽譜を読んでいないと絶対に間に合いません。

読んでいるところを弾いているように、実は弾きながらちょっと先を読んでいます。

一瞬の間に、これだけ膨大な情報処理を課す作業は、他に思いつきません。

しかもその一瞬を連続させています。

子どもの頃からこの過酷な「並列処理」に取り組み、それも毎日、取り組みそして何年間も継続します。

ピアノを習うとは、そういうことです。

この膨大な情報処理の鍛錬が、何かの役に立たないわけがないと私は思っています。

私は大学で心理学を専攻し、学習心理学を専門としました。そして、この「並列処理」が知能を理解するカギであることを知りました。



実は、以下のことを示すデータは、たくさんあります。

「ピアノを習っている子どもの知能が高い」

「ピアノ経験と学力は相関が高い」

「難関大学の学生の半数以上にピアノ経験がある」

「ピアニストに認知症の発症例が極端に少ない」

似たような話、似たようなデータは驚くほどたくさんあります。

それなのに、「ピアノを習うことのメリットは？」ときかれ、私は正直に「頭が良くなります」と答えたことがありません。

なぜだか分かりませんが「そういうことを口にするのは、ちょっと下品だな・・・」と思っているからかもしれません。

勉強ができるとか、良い学校に入るとか、そういうことにこだわるのは、かっこわるいですし、学校の成績が良いから幸せになれるともかぎりません。

だから「人生を豊かにします」なんて  
カッコいいことを、つい口にしてしま  
うのです。

ただ、私と同じように、いわないだけ  
で、ピアノと学力の関係に気がついて  
いる人は、世の中にもものすごくたくさ  
んいます。良識ある人は、そういうこと  
をあまりいうべきではないと思ってい  
るらしく、皆さん、いわないのです。

ちょっとずるいですね。

私は、今号は下世話に徹すると決め  
ました。口がすべったことにして、全部  
はきだしてしまいます。

世の中、気づいている人は気づいて  
いると感じる一例をあげます。

卒業生を日本で一番たくさん東大に  
入れる開成中学、開成高校は、なぜかピ

アノを必修にしています。ピアノ経験  
がない生徒も含め、全員、ピアノを弾か  
なくてはならないそうです。

科目を1つ増やせば、他の科目が1  
コマ削られます。英語や数学の時間を  
削ってでもピアノの授業を必修にして  
いるのは、私にとっては納得がいくこ  
とです。

ピアノの授業が学力を高めることに  
学校が気づいているのでしょう。

実際、ピアノほどの「並列処理」は、  
他の作業では不可能です。

一音会はどうかといえば、やはり毎  
年、東大に進学する生徒さんが出てい  
ます。他の難関大学に進学される方も  
たくさんいらっしゃいます。

皆さん、本当に優秀です。



もちろん、すべてがピアノのおかげ、  
というのは、いいすぎです。

でも、私自身にも、思いあたる経験が  
あります。

私が東大に進学し、はじめての学園  
祭で、クラスで演劇をすることになっ  
た時のことです。曲決めの際、相談の場  
に、私を含め、8人いたのですが、全員  
楽譜が読めました。

きけば全員、ピアノ経験がありまし  
た。ちなみに、8人とも開成高校出身者  
ではありません。

たまたまといわれれば、そうなのか  
もしれません。

でも、30年以上前で、その状態です。  
今はもっと、ピアノ経験者の比率が  
高いのではないかと思います。

小学校、中学校時代は、ピアノを習っ  
ている子がクラスに数人しかいなかった  
のに、どうして大学に入ると、ピアノ  
経験者ばかりになるのだろうか？と、当  
時は不思議に思いましたが、のちに「並  
列処理」のを知り、不思議に思わな

くなりました。

ただ、これからも私は、公には「ピア  
ノを習うと頭が良くなります」とは、い  
わないと思います。

今号で書いたことは、はじめて口に  
しますが、今後、二度と口にしません。

そういうことをいうのは、頭が悪そ  
うだから、です。

世の中には、ピアノの本当の効能を  
知らずに、ピアノをやめてしまう人も  
いるような気がしますが、かまいません。

いじわるかもしれませんが、この事  
実は知る人だけが知っていれば良いと  
思っています。ピアノを続けた人だけ  
が得をすれば良いのです。

だから、一音会の生徒さんと、一音会  
と縁のある方だけが読む、この「とらい  
あんぐる」で、こっそりささやきます。

勉強が忙しくなったからといってピ  
アノをやめるのは、絶対に間違ってい  
ますよ。

(江口 彩子)



## ◆「音楽の集い」を開催しました

11月3日（祝）に、おとなの方の発表会、「音楽の集い」を開催しました。たくさんの方にご参加いただき、たくさんのお客さまが足をお運びくださいました。

会場が、美しい音楽とあたたかな拍手でいっぱいになりました。幸せな1日をありがとうございました。

## ◆「フォルテの会」を対面式で開催します

「フォルテの会」は、声楽、ヴァイオリン、フルート、作曲、「うたくらぶ（合唱）」の生徒さんの発表会です。

昨年は、有観客で開催しました。今のところ今年も有観客で開催する予定です。もちろん、厳重に感染対策をおこないます。客席の前半分を空席とし、演者の生徒さんとお客様がじゅうぶんに距離を保てるようにいたします。客席は、椅子を相互に離して設置します。参加人数によっては、少人数の部編成とし、入れ替え制とします。

**日時：2023年2月5日（日） 開演13：00 予定**

感染を防止するため、スタッフ一同、鋭意努力いたしますので、ふるってご参加ください。



## ◆客員教授の先生のスケジュール

例年、3月に客員教授のプリドノフ先生ご夫妻をお招きしています。今年度は、コロナも落ち着き、渡航制限も解除され、本来のスケジュールで・・・と思っていた矢先、コロナ感染者が急増しています。またもや、先のことが分からなくなりました。

コンサートはともかくレッスンは、レッスンのために準備してきてくださった生徒さんがいるのに来日中止などということになっては、お詫びのしようがありません。苦渋の決断ですが、今年度まで、昨年、一昨年と同じやり方にさせてください。

客員教授の先生方は来日しません。「ジュニコン・オーディション」のみ、動画審査方式でおこないます。

「ひびきホール」でオーディションをおこない、その際の演奏を撮影させていただきます。動画をプリドノフ先生ご夫妻が観て、審査をおこない、講評を出します。(動画提出方式ではありませんので、ご注意ください。足をお運びいただく必要があります。)

**2023年3月21日(祝) 午後1時～ 「ひびきホール」**

上記の日程でご都合の悪い場合は、別の日、時間での撮影も可能ですので、本部にご相談ください。エントリーをお考えの生徒さんは、次の項の「エントリー要綱」をごらんの上、担当先生と相談しながら準備を進めてください。



## ◆ 「ジュニコン・オーディション」 要綱

「第17回ジュニア・コンサート・オーディション」を開催します。生徒さんの、音楽性、実力、将来性、すべてを総合的に評価する審査となります。

- ① 「ジュニコン・オーディション」は、「ひびきホール」でおこないます。
- ② 曲目は自由ですが、演奏時間は6分～12分程度とします。組曲や変奏曲の抜粋、ソナタの楽章の抜粋、短い曲を何曲か組み合わせることはかまいません。6分～12分は目安です。多少オーバーしてもかまいません。
- ③ エントリー資格者は、2023年4月時点で、小学4年生～高校3年生の、一音会に在籍する生徒さんです。
- ④ エントリーするための費用は15000円です。これは全額、審査員の先生ご夫妻や通訳者へのお礼にあてられます。もし、選ばれて「ジュニア・コンサート」に出演することになったら、コンサート出演費用5000円が必要になります。
- ⑤ 「ジュニア・コンサート」は、4月28日（金）夕方、「ゆめりあホール」（西武池袋線・大泉学園駅前）でおこないます。



## ◆在籍生徒さん向けのキャンペーンについて

コロナ前は、年明けから広くキャンペーンをおこなって、いろいろなレッスンをお試しいただく機会を作っていました。が、それは遠い昔となりつつあります。

この数年は、教室外の方向けのキャンペーンを中止していました。今年度も、感染状況は分かりませんが、安全第一としまして、外部向けキャンペーンを中止します。キャンペーンをおこなうことで、外から教室を訪れる方が増えると、密を招く危険性があるからです。

(1) 在会の生徒さん向けのキャンペーンと、(2) 生徒さんのごきょうだいやご家族の方向けのキャンペーンは、以下のようにおこないたいと思っています。それぞれ3種類、ございます。

### (1) 在会生徒さんのキャンペーン

#### ①アドバンスAのピアノレッスン30分体験

アドバンスAの先生のレッスンは、通常期間、体験していただく場合、体験料のご負担が重いですが、キャンペーン期間(2023年1月15日～2月19日)にお申し込みいただいた場合にかぎり、下記の体験料でお受けいただけます。

**30分 2470円 (全ての曜日共通)**

「〇〇先生のレッスンを」と、担当先生を指名していただくことができます。

すべての方が対象です。アドバンスAのレッスンをすでに受けていらっしゃる生徒さんも、他の先生のレッスンをおためしいただけます。

「どの先生で受けたら良いか分からない」という場合は、本部にご相談ください。

#### ②リトミックレッスン無料体験

原則として、お一人、1回とさせていただきます。(年齢構成や担当や曜日など、複

数回おためしになりたい場合は、ご相談ください。)

すべての方が対象です。

特に、現在、リトミックをお受けになっていらっしゃらない方は、ぜひ体験レッスンをお申し込みください。かつてリトミックをなさっていた方も、今現在の年齢のクラスをおためしになることをおすすめします。

リトミックでは、ピアノのレッスンではじゅうぶんに扱わない表現やリズムのお勉強をします。リトミックでしか扱わない教材もありますので、原則、すべての方におとりいただくことをおすすめしています。

### ③レギュラーのピアノレッスン30分無料体験

#### 絶対音感のレッスン10分無料体験

それぞれ、お一人、1回とさせていただきます。

ピアノの無料体験は、現在、ピアノを受講していない生徒さんが対象です。同様に絶対音感の無料体験も、現在、絶対音感を受講していない生徒さんが対象です。

現在、リトミックを受講していらして、ピアノや絶対音感をおはじめになることを検討していらっしゃる生徒さんに、ぜひ活用していただきたいと思います。

①と②は、2023年1月15日～2月19日、③は、2023年1月15日～4月16日を、キャンペーン期間とさせていただきます。

## (2) 生徒さんのごきょうだい、ご家族の方向けのキャンペーン

### ①リトミックレッスン無料体験

原則として、お一人、1回とさせていただきます。

リトミックは、8か月以上のお子さまが対象です。年齢とご希望曜日をおうかがいして、一番合うクラスをご提案いたします。

## ②レギュラーのピアノレッスン30分無料体験

### 絶対音感のレッスン10分無料体験

それぞれ、お一人につき、1回までです。ピアノは、2歳10か月以上の方、絶対音感の体験は、2歳0か月から5歳0か月までのお子さまを対象とさせていただきます。

ピアノの体験は、生徒さんのごきょうだいだけでなく、お父さまやお母さまも対象となります。この機会に、一度、お試しになってみてはいかがでしょうか。

## ③入会金1万円

通常、15000円（税別）のご入会金を、この期間のご入会にかぎり、10000円（税別）とさせていただきます。同一ご家族の中で、三人目の方がご入会になる場合は、ご入会金は無料です。

①②③とも、2023年1月15日～4月16日を、キャンペーン期間とさせていただきます。

お分かりにならないことは、ご遠慮なくおたずねください。ご相談に乗りながら、おすすめ体験レッスンをご案内いたします。



## ◆1年間、ありがとうございました

コロナに翻弄されながらも、今年が終わろうとしています。今年は、コロナ禍から立ち上がり、活動を再開する「始動の年」になった・・・と思いきや、また「第8波」なる“波”が来ているようです。これから寒さが厳しくなるシーズンですが、生徒さん、ご家族の皆さまが、元気に1年をしめくれますよう、祈るばかりです。

一音会は今年、すべてのイベントを有観客でおこなうことができました。動画配信と並行させる、新たな形を得ることもできました。実り多い1年になったと思っています。

それは、ご家族の皆さまの理解とご協力があったことでした。1年間、本当にありがとうございました。

冬休み中、一音会本部は12月23日（金）より1月5日（木）まで、お休みをいただきます。勝手ながら、その間は、電話でのご相談もお休みさせていただきますこと、どうかご了承ください。



\*\*\*\*\*

\*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：[ichionkai.piano@gmail.com](mailto:ichionkai.piano@gmail.com)

電話：03-3954-9999

\*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

\*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。

## 2022年のあゆみ

- 1月7日 2022年 レッスン開始日
- 1月 ピアノ・トライ（動画式）実施
- 1月22日・29日・30日・2月11日・20日  
ピアノ・トライ（対面式）実施
- 2月6日 第23回「フォルテの会」 有観客（You Tube 限定配信もあり）  
於 ひびきホール
- 2月13日 第68回「ル・コンセール」 有観客 於 ひびきホール
- 2月27日 第69回「ル・コンセール」 有観客 於 ひびきホール
- 2月 「動画式 ル・コンセール」 （You Tube 限定配信）
- 3月21日 第16回「ジュニア・コンサート・オーディション」 有観客  
於 ひびきホール
- 4月6日 2022年度 レッスンスタート
- 4月27日 第16回「ジュニア・コンサート」 有観客 於 ゆめりあホール
- 8月5日～8日 2022ピアノ発表会 於 成増アクトホール
- 11月3日 第23回「音楽の集い」 有観客（You Tube 限定配信もあり）  
於 ひびきホール
- 12月22日 2022年レッスン最終日

